

科学研究費補助金（若手研究（S））研究進捗評価

課題番号	19674002	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	モット絶縁体とスピnhall絶縁体：普通でない絶縁体の物理の究明	研究代表者 (所属・職)	安藤 陽一（大阪大学・産業科学研究所・教授）

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、モット絶縁体とスピン・ホール絶縁体という基本的な問題に関する研究であり、幾つかの重要な進展があり、研究は概ね順調である。残りの研究期間で、更なる進展も十分期待できる。</p> <p>例えば、PbS における異常角度依存磁気抵抗、BiSb におけるスピン・角度分解光電子分光、等の測定を自研究室内、及び他研究機関との密接な協力で行っており、折から、国際的流行も相まって、目覚ましい成果となっている。</p> <p>今後の課題として、強いて懸念を挙げるとすれば以下の2点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. モット絶縁体が、スピン・ホール絶縁体に比して、多少手薄感がある。</li> <li>2. 実験家は、理論的先入観に捕らわれることなく、全て自分の測定結果のみから、任意性のない、明瞭な回答を出して頂きたい。</li> </ol>	